



GTR

Transformative Chem-Bio Research
Nagoya University

名古屋大学 卓越大学院プログラム
トランスフォーマティブ
化学生命融合研究大学院プログラム

GTR 社会カシリーズ講義

遺伝子にイントロンが存在することの意味は？

日時	1月16日 16:30 ~ 17:00
場所	豊田講堂 / Zoom
言語	日本語



郷 通子 博士

長浜バイオ大学特別客員教授
中部大学創発学術院客員教授
名古屋大学名誉教授
お茶の水女子大学名誉教授（元学長）
日本学術振興会学術顧問

ヒトなどの真核生物の遺伝子DNAには、一見、無駄とも思える塩基配列、イントロンが存在する（分断遺伝子構造）。タンパク質に翻訳されないイントロンは、何のために存在するのだろうか？イントロンはタンパク質のモジュール構造と関わっていることなど、物理学、化学、生物学、情報学の間を歩んできた道筋を紹介します。

参加登録



1月6日（金）までに、以下URLよりご登録をお願いします。

<https://forms.gle/BctL4UJ6jkCRyJQD6>

連絡先

GTR学生支援室
名古屋大学 理学部B館217室
TEL: 052-789-2954
E-Mail: gtr@itbm.nagoya-u.ac.jp



<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/>